



6月議会報告

2024年我孫子市の6月議会は、6月3日(月)〜6月20日(木)まで18日間の会期で行われました。議案は12議案、請願1件、発議案1件、報告9件について討議しました。

請願1件については、「パレスチナ・ガザ地区の即時恒久的停戦を目的とした積極的平和外交を国に求める意見書について」で総務企画常任委員会に付託し、委員会全員採択され、本議会でも採択されました。発議案1件は、「パレスチナ・ガザ地区即時恒久的停戦意見書」となりました。



岩井康議員

岩井康議員は、補聴器購入の補助制度を、AEDの効果的な配置、不登校問題、防災の大纲4点について質問しました。

2023年12月議会で国への補聴器助成制度意見書請願を採択しました。補聴器購入の補助制度を確立し、難聴者の生活支援をお願いしたい。

①耳の聞こえに不安を感じたら、早期に医師の診断を受け、補聴器相談員に定期的な聞こえのサポートを受けることが必要であると考えています。②定期的な耳鼻咽喉科等医療機関への受診勧奨、補聴器相談医への情報提供、高齢者何でも相談室への相談支援について周知していきます。

③生活習慣病の予防に加え、早期発見、早期治療につながるよう早めの診断を啓発していきます。④年だからと、多少聞こえなくてもそのまま過ごしてしまおう方が多いので、早期受診をしていただく

居住地にAED配置の検討を進めてください。

令和5年度から、自治会等がAEDをを設置する際に補助金を交付しています。これまでに2自治会が交付金を活用し、新たなAEDを設置しました。

より多くの自治会で本補助金制度を活用いただき、

不登校児童生徒をなくすための対策をお知らせください。

現在行っている不登校対策は、不登校にならないための予防策として、子どもが自分の気持ちを安心して打ち明けられる環境づくりを整えることが大切と考えています。

そのため、教育相談の充実を図り、心の教室相談員兼在宅訪問指導員を各校に配置し、子どもが電話やメールで直接相談できる児童生徒からの悩み相談ホットラインの周知をしています。

災害から市民を守るための取り組みをお知らせください。

令和5年度に千葉県共催で合同防災訓練を実施し、地震時の避難所開設運営訓練と、風水害時の避難所開設受付、運営訓練、福祉避難所の受付運営訓練を実施しました。

自治会・自主防災組織では、令和5年度に68組

を行い、積極的な防火防災訓練の実施をお願いしていきます。

ハザードマップは、新たな面も加え、わかりやすい内容にしていきたいと思ひます。

防災ラジオの導入は、様々な問題があります。市民の皆様いきめ細かく情報伝達をしていくため、数多くの情報伝達方法を導入し、総合的に新たな

伝達方法について検討していきます。

特に、携帯電話やスマートフォンを持たない高齢者などに対して、固定電話に自動的に避難情報を導入するシステムを検討しています。



船橋優議員

船橋優議員は、我孫子4丁目排水対策、排水管路の改修、小中学校の施設維持管理の2点について質問しました。

令和5年9月20日の大雨時に調整池が溢れ、我孫子4丁目が浸水した。排水管路の改修が必要ではないか。

我孫子4丁目地区は、5年確立降雨に対応する雨水幹線が整備済みである。しかし、地形的な特徴から雨水が集まりやすく、

度重なる浸水被害が発生している。小中学校の施設維持管理と工事時の児童の安全について

学校の改修工事の際、連携し、児童の安全確保朝の工事車両の進入を、に努め、工事を進める。学校及び工事関係者と協議を行い、安全対策を強化し、児童の登校が完了する8時10分以降としている。学校及び工事関係者と



駅頭宣伝・街頭宣伝活動

5月20日6時30分から布佐駅で、裏金で政治を動かす自民党の批判と3月議会報告を行いました。

7月22日午後1時30分から湖北・新木・布佐の3地区9か所で、6月議会で補聴器購入補助金・AED設置・不登校問題・防災関係について質問内容と市当局の答弁について話をしました。

また、裏金金権政治の自民党岸田政権を終わりにしようとして訴えました。



街頭演説する岩井議員

新クリーンセンター見学

5月16日、東後援会で新クリーンセンターを見学しました。

モニター画面で、作業の様子を映像見ながら職員の説明を聞きました。



中央制御室では、各施設の操作を数人の職員で行っていました。近代的な焼却場になったことに驚きました。



布佐中学区3校の統廃合が決定

文科省の学校統廃合の方針を受けて、我孫子市も2年前から検討委員会を設置して検討してきた結果、今年の2月中旬に布佐小・布佐南小・布佐中3校一体型の学校にするのが検討委員会から提言されました。

それを受けて、7月4日我孫子市総合教育会議(参加者は、星野市長・丸教育長・教育委員4人・教育委員会職員)で、
①一体型小中一貫校について
②立地場所について
③立地場所の法令規制について
④跡地利用について
⑤スクールバスの運行についての5点について検討した結果、現布佐小学校の場所に3校一体型の新校舎を建設することを決定しました。

しかし、何点か問題があります。
問題点1 現布佐小学校は高台にあり周りの一部は崖になっています。大地震で、崖崩れが起きる可能性が考えられます。市は、崖に関して土砂災害防止法や崖条例に関する規制の対象となる場所があるが、法令に沿った対応をおこなえば、校舎等の建設は行えると確認したと言っています。

命にかかわることです。それでいいのでしょうか。

問題点2 現布佐小学校の校庭は狭いため、運動会・体育祭等の行事で、保護者の応援スペースがあるか疑問です。分割して実施する方法も考えられるが、ただ実施すればいいという問題ではないと思います。

また、中学生が体育の授業を現布佐中の校庭に行き実施しなければならぬ状況になると考えられます。その場合、往復の時間がかかり、種目によっては準備や後片付けの作業があり、体育の授業が十分に確保出来ない可能性があります。

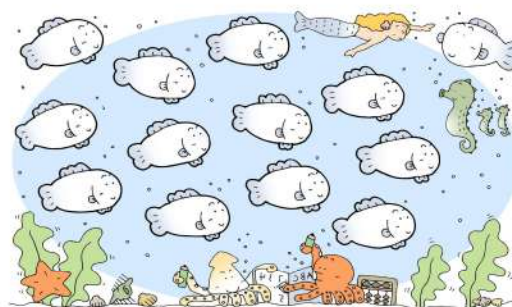
問題点3 布佐中学校の体育館は、武道館や多目的ルーム等で継続して活用する。布佐南小学校は、児童保育室及びびっこクラブをそのまま残して活用する。また、体育館は地域の避難場所として指定されているので継続して活用すると言っています。

問題点4 現布佐南小の児童が新校舎へ通学するために、スクールバスを運行する計画です。

登校時は同じですが、高学年になると、朝の練習等で登校時間が違ってきます。下校時間も学年により違うのでスクールバスの運行をどうするのか、安全を考えて市職員や先生が乗車するのか等々、具体的なことをこれから明確にしていく必要があると思います。

問題点5 現布佐小の跡地に3校一体型の新校舎が出来た場合、南新木地区の児童は新校舎の方へスクールバスで通学するか、新木小へ通学するかを考える児童も出てくるのが考えられます。その場合、学区を正確に定めるのが児童や保護者の

要望を聞いて対応をするのか、この点も明確にする必要があると思います。最後に、上記の5点の問題点を具体的に明確にしたうえで、保護者や地域住民に理解できるように説明会を持つ必要があると思います。



行事の案内

我孫子の教育を考える

ー我孫子の小中学校統廃合についてー

日時 8月4日(日) 午前10時～12時
場所 湖北台近隣センターホール
講師 山本由美さん(和光大学教授)
参加費 300円

あびこ平和フェスティバル

日時 8月24日(土)午前11時～午後7時
8月25日(日)午前10時～午後4時30分
場所 我孫子市民プラザ ホール

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 990円

無料法律相談

東葛事務所の弁護士による相談です。
相談のある方はご連絡をお願いいたします。

相談日 毎月第4木曜日 14:00～16:00
場所 岩井事務所
連絡先 090-7250-7213

